

政務活動費 報告書【会派支出】

無所属 山崎昭夫

会派名

支 払 日	令和6年10月			
支 払 先	JR（公益財団法人全国市町村研修財団 研修受講のための鉄道賃）			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分 (該当項目に○)	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	研究研修費	鉄 道 賃	長野⇄唐崎駅	26,700
	調 査 旅 費		10/16～10/18	
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
	合 計			26,700 円
(領収書添付欄)				
※領収書を紛失したため領収書の添付ありません。				

山崎昭夫議員政務活動JIAM研修(No.1) (大津市) () ()

令和6年10月16日(火)～令和6年10月18日(木)

地方財政制度の考え方と自治体財政

繁忙期 10/18

旅 費 額 明 細

鉄 道 賃 金	行 先	自 長野	名古屋	經由	京都	經由	經由	至 唐崎	運 賃	グリーン料金
	路 程	250.8 km	147.6 km		14.0 km		km	412.4 km	6,930 円	0 円
	急行料金	特別職 2,950 円	3,270 円		円		円	計 6,220 円	小計 特 13,150 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自 唐崎	京都	經由	名古屋	經由	經由	至 長野	運 賃	グリーン料金
	路 程	14.0 km	147.6 km		250.8 km		km	412.4 km	6,930 円	円
	急行料金	特別職 円	3,470 円		3,150 円		円	計 6,620 円	小計 特 13,550 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
船 賃 金	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
賃 金	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
備 考	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
	行 先	自		經由		經由	經由	至	運 賃	グリーン料金
	路 程	km	km		km		km	0.0 km	円	0 円
	急行料金	特別職 円	円		円		円	計 0 円	小計 特 0 円	
		一般職 G 円	G 円		G 円		G 円	円	—	円
									計 特 26,700	
									—	0 円
車 賃		自 至		円	自 至		円	計	円	
		自 至		円	自 至		円		0 円	
航空 賃		自 至		円	自 至		円	計		
		自 至		円	自 至		円		0 円	
日 当		定額1日		円			1 日	計 特	0 円	
		定額1日		円			日	—	0 円	
宿 泊 料		県内・県外 定額・指定1夜					夜	計 特	0 円	
		県内・県外 定額・指定1夜					夜	—	0 円	
食 卓 料										
☒ 宿泊料は、JIAM(全国市町村国際文化研修所にて宿泊(指定宿)) ☐ 高級旅費(条例第22条) ☐ 調整(条例第24条第4号適用)									合計	
									特別職	
									26,700 円	
									一般職	
									円	

実費(JIAM研修費とともに支払い)

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名 無所属 山崎 昭夫

支払日	令和6年10月19日			
支払先	公益財団法人全国市町村研修財団 - 研修所			
活動に要した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)			円
	研究研修費	研修演習費	地方財政制度の基盤と自治体	11,000
	調査旅費	(10月16日～18日)	県政	
	資料作成費	うち食費を除く		-4,800
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計			11,000円	

(領収書添付欄)

⑤ 6,200

受講証明書 領収書
次頁以降

領 収 書

長野市議会 山崎 昭夫 様

金額 11,000 円

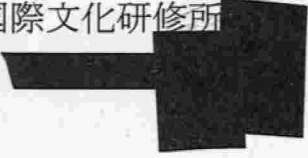
但し、 令和6年度市町村議会議員研修[3日間コース]
「地方財政制度の考え方と自治体財政」

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和6年10月19日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 

領収書No. 382

受講証明書

団 体 名 : 長野県 長野市

所属・氏名 : 長野市議会 議員 山崎 昭夫

研 修 名 : 令和6年度市町村議会議員研修 [3日間コース]
「地方財政制度の考え方と自治体財政」

期 間 : 令和6年10月16日 (水) ~ 10月18日 (金)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和6年10月18日

全国市町村国際文化研修所
学 長 荻 澤 滋



全国研第 418 号

令和6年9月6日

長野県 長野市議会議員様

公益財団法人全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所

学長 荻澤 滋

滋賀県大津市唐崎二丁目13番

登録番号 T6040005002305



研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしく願います。

氏名	山崎 昭夫
コース名	令和6年度市町村議会議員研修 [3日間コース] 「地方財政制度の考え方と自治体財政」
研修期間	令和6年10月16日 (水) ~ 10月18日 (金)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

(1) 納入金額：11,000円

<内訳> 研修費 (@1,300) (課税10%分) 3,900円
食費 (課税10%分) 950円
食費 (不課税分) 3,850円
研修生活動費 (課税10%分) 2,300円
4,850 (消費税込み)

(2) 税区分による内訳：(課税10%分) 7,150円 (内税 650円)
(不課税分) 3,850円 (内税 0円)

(3) 指定期間： 令和6年10月4日 (金) ~ 10月10日 (木)

(4) 指定口座： 滋賀銀行
みずほ銀行
名義人：ザイ センコクショウリョウケンシュウザイタン
センコクショウリョウケンサイブンケンシュウショ
(公財) 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

- 2 受講者に対する連絡指導について
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整えたうえ、所定の日時（令和6年10月16日 11:00～12:00）に研修所に入所するよう指導してください。
 - ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
 - ・受講される皆さまへ
 - ・時間割
 - ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
- 3 受講者を研修に専念させることについて
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合により途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けることのないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関について
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は停車しませんので、ご注意ください。
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車で的外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手当の支給等の用意をお願いします。
最終日の研修終了時刻は、12:15頃です。最終日の昼食は、研修経費に含まれておりません。
- 6 受講申込みの取消等について
この受講決定通知受領後の受講申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合や受講者を変更しなければならないこととなった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連絡してください。
なお、受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の費用等）が発生することがあります。
- 7 途中退所について
研修期間中、受講者に、他の受講者等に著しく迷惑を及ぼす行為、研修所の規律を乱す行為その他公務員としてふさわしくない行為が認められる場合は、貴職に通知したうえで、退所を命ずることがあります。
- 8 感染症等への対応について
当研修所では、マスクの着用については、個人の選択を尊重することとしています。が、集団研修を実施している組織として、教室等の換気やアルコール消毒液の設置、受講者数に応じた配席の工夫など、可能な範囲で新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止策を講じていくこととしております。
また、体調不良等の方については、マスク着用の要請や受講をご遠慮いただくこともありますので、あらかじめご承知下さい。
- 9 問い合わせ先
全国市町村国際文化研修所（JIAM）
【研修に関すること】 教務部 TEL 077-578-5932 担当： XXXXXXXXXX
【経費納入に関すること】 経理課 TEL 077-578-5931

令和6年度



市町村議会議員研修[3日間コース] 地方財政制度の考え方と自治体財政

地方財政は地域の公共サービスを提供するうえで、重要な役割を担っています。本研修では、地方財政制度の考え方や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について考えます。また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の役割について理解を深めます。

研修の ポイント

- 講義、演習を通じて、地方財政についての知識の習得や、財政診断についての考え方を学びます。
- 事例紹介を通じて、自治体の財政健全化についての取組や財政運営について学びます。
- 自治体財政の現状と課題を理解し、議員や議会の役割について理解を深めます。

※本研修は、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会と共催で開催します。

開催要領

日 程

令和6年10月16日(水)～10月18日(金)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。過去に受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、お断りする場合がありますので、予めご了承ください。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年8月30日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

10月

16日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講式・オリエンテーション

13:00~15:15

講義 伯耆町の町政運営と財政健全化

鳥取県伯耆町 町長 森安 保 氏

伯耆町の町政運営や財政健全化に向けた取り組み、より良い住民サービスにつなげるための施策や自治体行政運営における今後の展望等についてお話しいただきます。

15:30~17:00

意見交換

受講者同士で地方財政に関する日頃からの疑問や自治体の財政状況等の課題及び問題意識について意見交換を行います。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:10

講義 地方財政制度の考え方

総務省地方財政審議会 会長 小西 砂千夫 氏

地域社会を支える地方財政制度の仕組みについて、地方財政の全体(マクロ)と個々の自治体財政(ミクロ)の関係を中心に財政制度の考え方をお話しいただきます。

10:25~15:10

講義 地方財政のよくある質問その1、2、3

総務省地方財政審議会 会長 小西 砂千夫 氏

「臨時財政対策債は本当に確実に償還できるか」や「社会保障給付増を交付税は支え切れるか」や「経常収支比率は80%が適切か」という話を主に、自治体の財政運営のなかで発生する疑問や課題についてお話しいただきます。また、自治体の健全な財政運営に努めるために議員・議会が担うべき役割についてお話しいただきます。

15:25~16:35

演習 ふりかえり

総務省地方財政審議会 会長 小西 砂千夫 氏

これまでの講義、意見交換をふりかえります。疑問点や意見などを共有し、さらに理解を深めます。

9:25~12:00

事例紹介 財政健全化における川西市の取り組み

兵庫県川西市 副市長 松木 茂弘 氏

川西市の財政健全化に向けた取り組み、より良い住民サービスにつなげるための施策や自治体行政運営における今後の展望等についてお話しいただきます。また、事例紹介の後、質疑と意見交換により理解を深めます。

12:00~12:15

閉講・事務連絡

令和6年

10月

18日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

報 告 書 (No.1)

令和6年10月19日

報告者氏名(代表) 山 崎 昭 夫

次のとおり、研修をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1 研修者氏名

山 崎 昭 夫			
---------	--	--	--

2 研修期間 令和6年10月16日 ～ 令和6年10月18日

3 研修先、研修事項、選定理由

研修日時	研修先	研 修 事 項 及 び 選 定 理 由
◆令和6年10月16日 ～10月18日	滋 賀 県 JIAM 研修 センター	令和6年度市町村市会議員研修【3日間コース】 地方財政制度の考え方と自治体財政
令和6年10月16日 12:30～17:00	滋 賀 県 JIAM 研修 センター	伯耆町の調整運営と財政健全化の講義～森安保町長 財政の健全化とよりよい住民サービスにつなげるた めの施策、また今後の地方自治体運営について検収す るため。また地方財政についてほぼ同規模の市町村議 員毎のグループワーク。他都市の事例を知りつつ意見 交換会でデータに基づいた意見交換会があったため。 翌日にグループごとに発表し知見を講師より頂く。
令和6年10月 ¹⁷ 16 日 9:30～16:35	滋 賀 県 JIAM 研修 センター	総務省地方財政審議会・小西会長の講義 地方財政全体と個々の自治体財政の関係をミクロ、マ クロ両方の関係性を研修。「臨時財政対策債償還」「経 常収支比率は80%が適切なのか」など疑問や課題に ついての講義を通じ、議員や議会の役割を研修。また グループごとの発表。疑問点や意見を共有。講師の専 門的アドバイス研修も頂くため。
令和6年10月18日 9:25～12:00	滋 賀 県 JIAM 研修 センター	財政健全化における兵庫県川西市の取り組み 松木茂弘副市長から研修。人口14万人大阪府県境の 市。財政健全化の取り組み、よりよい住民サービスに つなげるための施策を研修し質疑でより理解を深め る研修であったため。

報 告 書 (No.2)

報告者氏名 山 崎 昭 夫

月 日	研 修 先	研修結果 (参考となった事項、考察)
10 月 16 日	JIAM 研修センター	オリエンテーション後。伯耆町の森安町長の講演。 財政の健全化こそがまずはより良い住民サービスにつながる基本であるということ。議員として予算を含めて委員会や一般質問で生かしていくことが大切であると感じた。 投資的経費と住民負担について。伯耆町では森安氏就任時以降、住民サービスの投資的事業は多岐にわたる。防災無線の DX 化、図書館整備、道路改良など。特に学校関係で 30 億円。ポイントは投資の抑制によって節税路線で来たわけではないこと。保育料の引き下げ、給食補助の増額など住民負担を実質低下させて施策を行ってきたことは、大変参考になった。 美術館や土地開発公社など街の身の丈に合わないことについてはコストカット。学校施設などの耐震補修に回す。これは首長のリーダーシップとともに、議員への説明を丁寧に行ったことで町民への理解が広がったこと。基本かもしれないがコミュニケーションが大切であることは参考になった。 財政再建には初期段階では基金の増強を図ったことは参考に値する。合併特例債など国の資金を積極活用、同時に借入金も積極的に繰り上げ償還。公用車などはリースから購入にするなどあらゆる手段を施策として行った。人気最初はほぼそれに費やしている。 動かすことには時間がかかるのが民主主義。丁寧な説明を果たしてきたことが、全体の利益の波及につながっていくことは重要であることが考察できる。人事、歳入、歳出をしっかりと管理することは議員としても協力していくことが重要と理解した。 「議員は心配するのが仕事、我々は財政をもっと町民のために使いたい。」が町長の一貫した思い。参加者の共通認識となった。

17日		「議員は心配するのが仕事。首長は財政を町民のためにもっと使っていきたい。」という地方自治の2元代表制の森安町長のコメントが残る中で、各班に分かれて意見交換会に臨んだ。私は中核市であり県庁所在地の6人のグループ。盛岡市、富士市、松江市、高知市、下関市の議員との意見交換会。大規模投資事業が当初予算より大幅に増額になっている自治体が多いこと。財政力指数などはほぼ平均値であること。又、健全化指数が悪化していても公園整備、震災対策、公共施設の耐震化改築などはしっかりと実施している自治体が多く、共通認識で意見交換ができたことはよかった。それぞれの指数や指標は健全である。しかしながら、小西講師との協議を通じ、これからの公共インフラ更新への先送りが不安だという声が多かったのも共通認識となった。益々議員の役割の重要性を感じた意見交換会であった。
		総務省地方財政審議会 小西会長の講義 地方財政制度の考え方と財政についてのよくある質問がテーマ。 GDP は人口が減っても実質成長がマイナスにはならないとのこと。1年で1%程度の減少。これから高度経済成長は見込めない反面、人口減少が経済成長の足を引っ張ることにはならないとのこと。そのためにこそ子育て支援などの制度設計はさらに大切になる。労働参画量が必要ということ。そのほか機械化、省力化などの政策を推進していくことでマイナス成長を抑えることができるという理論は大変参考になり、希望を持った。国の政策の動向を地方議員も注目することの大切さを研修で学んだ。 マクロ的な形で例えば政府、国会を考える。「官僚の打破」と叫ばれるが、真に達成は大変厳しい（どの段階でそう言えるかも含めて）ことである。何を変えるべきかを明確にすることが前提となるが、 制度がどのように機能しておるかをじっくりと考えることが必要で思い付きの改革を叫んでもそれは思い付き。改革には十分な研究と理論の裏付けが重要であるとの講義は参考になった。思い付きの改革は百害あって一利なしとの厳しい指摘は議員職として胸に響いた。
18日		財政の質問で多いのが基金の取り崩しについてであるが、決算でもどれば均衡予算であり、特に問題はない。市民のための施策をしっかりと行うというのは小西氏の理論は森安町長の発想と共通している。議員として市民の皆様のために大胆な提案ということも大切であると認識した。 財政健全化における川西市の取り組み 松木副市長の講義

	PFI 手法の導入であるが、本市でもすでに実施されている。祖の先進例がいくつかある川西市。民間資金と経営能力などを活用して公共施設等の設計から回収、維持管理まで運営を行う手法を早い段階で実施していることが参考になった。 首長の立場からの講義であるが、財政の健全化と街づくりは両輪であること。この両立が「行政経営マネジメント」の勘所である。又この両立はブレーキとアクセルであり時間の使い方がポイントとなるという斬新な考え方が先進的であると考察できる。ただ、基本は財務情報の「市民への見える化」と分かりやすい形であった。「見えるか」により住民に県が減少するといった事例は参考になった。 時代が変わり、市長が変わっても自律的に財政が運営できるように首長の責務を明確にした「財政健全化条例」は参考になった。計画的に、規律あるものに、透明性をもって、実効性を確保していくという理念は議員として常に意識するべきと考える。 財政には安全性の指標として災害発生時等の蓄えとして基金残高をしっかりと確保すること（基本確保比率）。公債費の償還にかかわる負担が過大にならないこと（実質公債比率）など、しっかりと担保されていることが前提という点が地方財政として大切であると講義で学んだ。本当に基本的なことであるが、阪神・淡路大震災を経験した川西市の体験からのこの部分などは大変参考になった。
--	---

政務活動費 報告書【会派支出】

無所属 山崎昭夫

会派名

支 払 日	令和6年10月			
支 払 先	JR(公益財団法人全国市町村研修財団 研修受講のための鉄道賃)			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分 (該当項目に○)	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	研究研修費	鉄 道 賃	長野駅⇔唐崎駅	26,300
	調査旅費		10/21～10/22	
	資料作成費		※議会改革を考える～先進	
	資料購入費		事例に学ぶ住民参加	
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
	合 計			26,300 円
(領収書添付欄)				
※領収書を紛失したため、領収書の添付はありません。				

山崎昭夫議員政務活動JIAM研修(No.1) (大津市) () ()

令和6年10月21日(月)～令和6年10月22日(火)

議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加

旅費額明細

鉄	行 先	自	長野	名古屋	經由	京都	經由	經由	經由	至	唐崎	運 賃	グリーン料金	
	路 程		250.8 km	147.6 km		14.0 km		km	km		412.4 km	6,930 円	0 円	
	急行料金	特別職	2,950 円	3,270 円		円		円	円	計	6,220 円	小計 特	13,150 円	
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自	唐崎	京都	經由	名古屋	經由	經由	經由	至	長野	運 賃	グリーン料金	
	路 程		14.0 km	147.6 km		250.8 km		km	km		412.4 km	6,930 円	円	
	急行料金	特別職	円	3,270 円		2,950 円		円	円	計	6,220 円	小計 特	13,150 円	
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
船	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
賃	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
備	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
	行 先	自			經由	經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金	
	路 程				km	km	km	km	km		0.0 km	円	0 円	
	急行料金	特別職	円	円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円		
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円		円	—	円	
考												計 特	26,300	
												—	0 円	
車 賃	自	至		円	自	至		円	計	円				
	自	至		円	自	至		円	0 円					
航空 賃	自	至		円	自	至		円	計	円				
	自	至		円	自	至		円	0 円					
日 当	定額1日						円	1 日	計 特	0 円				
	定額1日						円	日	—	0 円				
宿 泊 料	県内・県外	定額・指定1夜	実費(JIAM研修費とともに支払い)					夜	計 特	0 円				
	県内・県外	定額・指定1夜						夜	—	0 円				
食卓料														
備 考	☒ 宿泊料は、JIAM(全国市町村国際文化研修所にて宿泊(指定宿))											合計		
	☐ 高級旅費(条例第22条)											特別職		
	☐ 調整(条例第24条第4号適用)												26,300 円	
												一般職	円	

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名 無所属 山崎 昭夫

支払日	令和6年10月19日		
支払先	(公財)全国市町村研修財団、国際文化研究所		
活動に要 した経費	使途区分 (該当項目に○)	経費の内訳、算出根拠等	金額 円
	研究研修費	研修演習費 議会改革を考へる ～先進事例に学ぶ住民参加	8,050
	調査旅費	10月21日～22日青森県公開～	
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費	夕食費を除く	- 3,150
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費		
	合計		

(領収書添付欄)

4,900

領収書 並びに 受講証明書 (付)

(以上次頁)

領 収 書

長野市議会 山崎 昭夫 様

金額 8,050 円

但し、 令和6年度市町村議会議員研修[2日間コース]「議会改革を
考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和6年10月19日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役

領収書No. 383

受講証明書

団 体 名 : 長野県 長野市

所属・氏名 : 長野市議会 議員 山崎 昭夫

研 修 名 : 令和6年度市町村議会議員研修 [2日間コース]
「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

期 間 : 令和6年10月21日 (月) ～ 10月22日 (火)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和6年10月22日

全国市町村国際文化研修所
学 長 荻 澤 滋



全国研第425号
令和6年9月10日

長野県 長野市議会議員様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 荻澤 浩
滋賀県大津市唐崎二丁目13番
登録番号 T6040005002305



研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願い致します。

氏名	山崎 昭夫
コース名	令和6年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 「議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
研修期間	令和6年10月21日 (月) ～ 10月22日 (火)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

- (1) 納入金額：8,050円
＜内訳＞ 研修費 (@1,300) (課税10%分) 2,600円
食費 (課税10%分) 1,700円
食費 (不課税分) 1,450円
研修生活動費 (課税10%分) 2,300円) 3,150 -
- (2) 税区分による内訳：(課税10%分) 6,600円(内税 600円)
(不課税分) 1,450円(内税 0円)
- (3) 指定期間： 令和6年10月9日 (水) ～ 10月16日 (水)
- (4) 指定口座： 滋賀銀行
みずほ銀行
名義人：サイ センコクシヨウリケンシュウ イタン
センコクシヨウリケンカインカンシュウ
(公財) 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

- 注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。
注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。

- 2 受講者に対する連絡指導について
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整えたうえで、所定の日時（令和6年10月21日 11:00～12:00）に研修所に入所するよう指導してください。
 - ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
 - ・受講される皆さまへ
 - ・時間割
 - ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
- 3 受講者を研修に専念させることについて
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合により途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けることのないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関について
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は停車しませんので、ご注意ください。
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手当の支給等の用意をお願いします。
最終日の研修終了時刻は、15:15頃です。
- 6 受講申込みの取消等について
この受講決定通知受領後の受講申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連絡してください。
なお、受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の費用等）が発生することがあります。
また、本通知に記載の受講者が受講できなくなった場合は受講辞退となり、受講者の変更はお受けいたしかねますのでご了承ください。
- 7 途中退所について
研修期間中、受講者に、他の受講者等に著しく迷惑を及ぼす行為、研修所の規律を乱す行為その他公務員としてふさわしくない行為が認められる場合は、貴職に通知したうえで、退所を命ずることがあります。
- 8 感染症等への対応について
当研修所では、マスクの着用については、個人の選択を尊重することとしています。が、集団研修を実施している組織として、教室等の換気やアルコール消毒液の設置、受講者数に応じた配席の工夫など、可能な範囲で新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止策を講じていくこととしております。
また、体調不良等の方については、マスク着用の要請や受講をご遠慮いただくこともありますので、あらかじめご承知下さい。
- 9 問い合わせ先
全国市町村国際文化研修所（JIAM）
【研修に関すること】 教務部 TEL 077-578-5932 担当： XXXXXXXXXX
【経費納入に関すること】 経理課 TEL 077-578-5931

令和6年度

JIAM

市町村議会議員研修[2日間コース]

議会改革を考える

～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手していますが、社会情勢の変化に合わせ、より柔軟性の高い議会のあり方が求められています。

本研修は、住民の関心を高め、二代表制の一翼を担う議会としてさらなる役割を果たすために、以下について学び、各議会における改革の糸口を掴んでいただくことをねらいとして実施いたします。

研修の ポイント

- 議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など）について学ぶ
- 議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める
- ダイアログ（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ

開催要領

日 程

令和6年10月21日(月)～10月22日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
過去に受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、お断りする場合がありますので、予めご了承ください。

募集人数

60人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

8,050円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年8月30日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

研 修 報 告 書 (No.1)

令和6年10月22日

報告者氏名(代表) 山 崎 昭 夫

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1 視察者氏名

山崎 昭夫			
-------	--	--	--

2 視察期間

令和6年10月21日 ～ 令和6年10月22日

3 研修先、研修事項、選定理由

研修日時	研修先	研 修 事 項 及 び 選 定 理 由
令和6年10月21日 午後1時～ 午後2時30分	JIAM 研修 センター	マニフェストという言葉を作った早稲田大学名誉教授北川正康氏の講演「地方議会の展望」。県議から代議士、そして三重県知事まで務めた北川氏。貴重な機会であり、先生の考え方を生で聞く貴重な機会であったから。
午後2時45分～ 午後5時30分	2日間 同じ会場	「議会改革度調査から見る地方議会」早稲田大学マニフェスト研究所中村健事務局長の講演。20代で四国の町長を務めてきた経験と北川先生の右腕としての興味深い講義を聞く貴重な機会であったから。その後「住民参加・情報公開を進める取組」を加賀議会副議長上田朋和氏の実例とともに中村氏のコーディネートで各班グループワーキングから情報交換ができるから。
令和6年10月22日 午前9時～ 午前11時45分	同じ会場	「住民参加・情報公開を進める取り組み」として、宮城県柴田町議会議長、高橋たい子氏の講演。 なるべく多くの実践例を研修したいため参加。
午後0時40分～ 午後3時まで	JIAM 研修 センター	「各議会における今後の議会改革推進の検討」前日に続き、早大中村事務局長の進め方説明とともにオープンカフェ方式でのグループ演習、発表、講評を頂く。座学だけでなく議員同士の意見出し合いで推進をするための演習は貴重な機会の為参加。

報 告 書 (No.2)

報告者氏名 山崎 昭夫

月 日	研修先	研修結果 (参考となった事項、考察)
10 月 21 日～22 日	JIAM 研修センター	北川名誉教授に頭を殴られたかのような厳しい講義であった。時代に関係なく、人対人で向き合う以上今の政治や経済だけでなく教育の在り方は抜本的に変えることができるということ。全ては意識であるということと時代認識が大切という概念は今後の活動に参考になった。議会の役割は執行部の監視だけではない。執行権者と議会は機関として対等であるという緊張感、今まで通りの明日はないという意識と提言が明日を変えるということ。定数削減、報酬削減、活動費削減は「改革」とは言えない。一人一人の議員活動に明日を変える「改革」があるということ。地方から国を変えるという気概がなければ未来はないという激励にも近い講演には熱いものを感じた。
		「議会改革から進める地方議会」早大中村氏の講義、議会は住民から何を期待されているか・街が善くなっていくこと。不安が小さくなっていくこと。これが「まちづくり」の基本であり、これすなわち議会・議員の活動であるということは参考になった。
		住民参加の先進例。熊本市。高齢者が DX 町内会実施。きっかけは地震であり 11 万人の避難がきっかけ。DX 化に取り組みオンライン版会議規則を作るなど 3 年を要したとのことだが、先入観で行なわないということはない、また震災から新しい仕組みを構築したという点は大変参考になった。
		加賀市議会は様々な取り組みは知恵を絞っている。本市でも実行していることは多数。例えば議会基本条例。平成 23 年に施行。開かれた議会、市民参加の議会、政策提案する議会、監視する議会、審議する議会と目指すべき姿を掲げる。そして取り組みを明文化しているというのは本市条例に近いが、まずは議会や議員の共通認識を持つことが、開かれた議会の第一歩であるということは参考になった。北海道栗山町の例、含めてである。
		議会お出かけ教室を開催。小中学校に議員が出向き、どんなところかどのようなことをしているか視ることはできるか議会の賛成反対はどうやって決めるの？など、SNS の積極活動とともに、地道な活動で主権者教育にもつながっている。両輪が必要というのは大変参考になった。また地元大学との提携で基本条例に基づいて、シンクタンク的な提言をしてもらう施策は参考になった。 演習でも取り組み事例を出し合い、「読書推進条例」など環境整備を理念に掲げたものなど参考に全国各市の議員との話し合いは参考になった。

		柴田町の高橋議長の講義では住民参加を進めるため、ICT 技術を積極的に活用しているという点が参考になった。東日本大震災を教訓にしている。熊本の事例の様に常に情報発信することが災害時にも大きな情報伝達においての機能を発揮するということが大変参考になった。 本市では学生対象で実施が決定している自由討議。思っていることを否定せず、しかも黙っている人にもなぜそうしているのかも聞かず。雰囲気慣れてくると住民の皆さんが自由に議論に参加していく形になる。提言や提案は議員の意思決定の「生きた情報」として共有できるということは大変参考になった。 演習では市の議員の7人ほどのグループに参加。情報公開について ICT 化を含めて本市はかなり進んでいると感じた。議会報がセンセーショナルな（都市部の中づり広告や格闘技大会のポスター）の見出しや市議会 HP は賛否の分かれるところであろうが、身近に感じて頂けるという点では「遊び心」は若者に対する関心を少しでも上げる要素になるという意見、QR コードが大きく、見出しと議員の写真、主な質問事項だけという大胆なレイアウトの議会報もあり、どう市民の方々に興味を持っていただくかの工夫は、この演習でしか感じられないものとなり、参考になった。
--	--	--

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名 無所属 山崎 昭夫

支払日	令和6年10月25日		
支払先	セブンイレブン 長野市役所店		
活動に要した経費	使途区分	経費の内訳、算出根拠等	金額
	(該当項目に○)		円
	研究研修費		
	調査旅費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報・広聴費		
	人件費		
	事務所費		
	その他の経費	のり 消耗品文具等	107
合計			107 円

(領収書添付欄)

セブンイレブン
長野市役所店
長野県長野市大字鶴賀緑町1613

電話：026-219-0019 ｼﾞﾂ#3

事業者登録番号T6100002004438
2024年10月25日(金) 09:09 責002

領収書

無所属 山崎 昭夫 様

¥107-

税率10%対象商品 ¥107
(内消費税等10%対象 ¥9)
合計 ¥107

但しﾌﾏｰﾈｰﾙﾈｰﾙﾈｰﾙ

上記正金領収書にしました
2024年10月25日本票を保管頂く場合は、印刷面を
内側に折り、保管をお願い致しますセブンイレブン
長野市役所店
長野県長野市大字鶴賀緑町1613

電話：026-219-0019 ｼﾞﾂ#3

事業者登録番号T6100002004438
2024年10月25日(金) 09:09 責002

領収書

無所属 山崎 昭夫 様

¥107-

税率10%対象商品 ¥107
(内消費税等10%対象 ¥9)
合計 ¥107

但しﾌﾏｰﾈｰﾙﾈｰﾙﾈｰﾙ

上記正金領収書にしました
2024年10月25日本票を保管頂く場合は、印刷面を
内側に折り、保管をお願い致します

政務活動費 報告書【会派支出】

会派名 無所属 山崎昭夫

支払日	令和6 年 10 月 30 日			
支払先	JR 東日本株式会社			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)			円
	研究研修費	旅費	長野⇔大宮⇔秋田	43,710
	調査旅費			42,460
	資料作成費	※旅費の支給上限が		
	資料購入費	42,460円です。		
	広報・広聴費	(秋田→羽後本庄の口名号		
	人件費	のB種券をひく1,250円分)		
	事務所費			
	その他の経費			42,460
合 計				43,710 円

領 収 証

2024年10月30日

無所属 山崎昭夫 様

金43,710円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野806 No.000022

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 決 谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

2024年10月30日

無所属 山崎昭夫 様

金43,710円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野806 No.000022

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 決 谷
税 務 署 承 認 済

山崎昭夫議員 政務活動行政視察(No.1)

秋田市 由利本荘市

(中核市サミット) (由利本荘アリーナ)

秋田駅

羽後本荘駅

令和6年10月31日(木)、11月1日(金)

こまち 乗車

10月31日:通常期 11月1日:繁忙期

旅費額明細

鉄	行先	自	長野	大宮	經由	經由	秋田	經由	至	羽後本荘	運賃	グリーン料金	
	路程		192.1 km	632.3 km		km	km	42.8 km		867.2 km	10,390 円	0 円	
	急行料金	特別職		3,170 円	7,470 円		円	円	円	計	10,640 円	小計 特	21,030 円
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自	羽後本荘	秋田	經由	大宮	經由	經由	經由	至	長野	運賃	グリーン料金
	路程		42.8 km	632.3 km	192.1 km		km	km	km		867.2 km	10,390 円	0 円
	急行料金	特別職		円	7,670 円	3,370 円		円	円	計	11,040 円	小計 特	21,430 円
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km		こまち乗車	km	km	0.0 km		円	0 円	
船	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
賃	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
備考	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
	行先	自		經由	經由	經由	經由	經由	至		運賃	グリーン料金	
	路程		km	km	km	km	km	km	0.0 km		円	0 円	
	急行料金	特別職		円	円	円	円	円	計	0 円	小計 特	0 円	
		一般職	G	円	G	円	G	円	G	円	円	—	円
											計 特	42,460	
											—	0 円	
車賃	自	至		円	自	至		円	計		円		
	自	至		円	自	至		円			0 円		
航空賃	自	至		円	自	至		円	計		0 円		
	自	至		円	自	至		円			0 円		
日当	定額1日			円				円	日	計 特	0 円		
	定額1日			円				円	日	—	0 円		
宿泊料	県内・県外	定額・指定1夜		円				円	夜	計 特	実費	円	
	県内・県外	定額・指定1夜		円				円	夜	—	円		
食卓料													
備考	☒ 宿泊料は、一夜 定額14,800円(特別職)を上限とする実費。										合計		
	☐ 高級旅費(条例第22条)										特別職	42,460 円	
	☐ 調整(条例第24条第4号適用)										一般職		

※ 秋田～羽後本荘
 いなほ号
 B特急券代は除く

会計課予備審査処理欄

令和6年度



由利本荘市ミニデータ

市勢要覧資料編

1. 位置・地勢

面 積	1,209.59km ² (全国都道府県市町村別面積調令和5年1月1日現在)		
地 域	最東端 東由利地域	東経 140°21'21"	東西約32.3km
	最西端 西目地域	東経 139°58'49"	
	最南端 鳥海地域	北緯 39° 0'49"	南北約64.7km
	最北端 岩城地域	北緯 39°35'54"	
海 抜	最高 1,757m (県内最高点)	最低 0m	
	鳥海山百宅口登山道・唐獅子平避難小屋近くの県境		日本海
市役所の位置	尾崎17番地	東経 140°02'56"	
		北緯 39°23'09"	

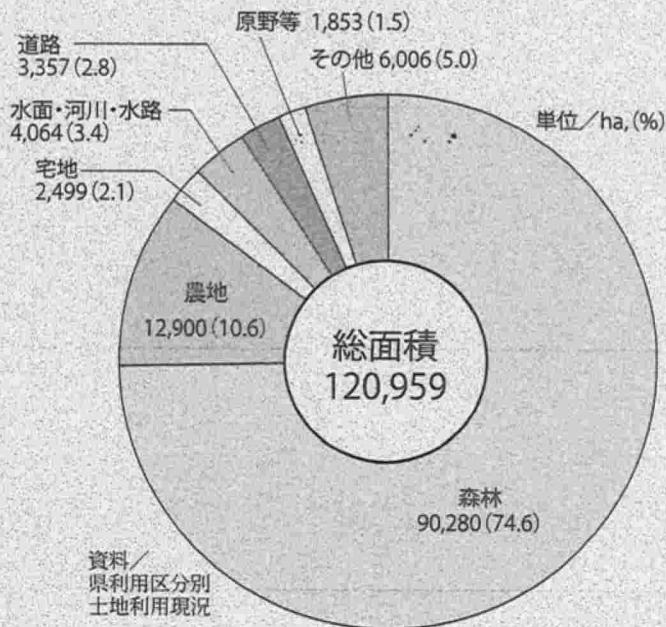
【位置図】



2. 土地

【地目別面積】

平成29年10月1日現在



3. 気象

令和5年1月～12月

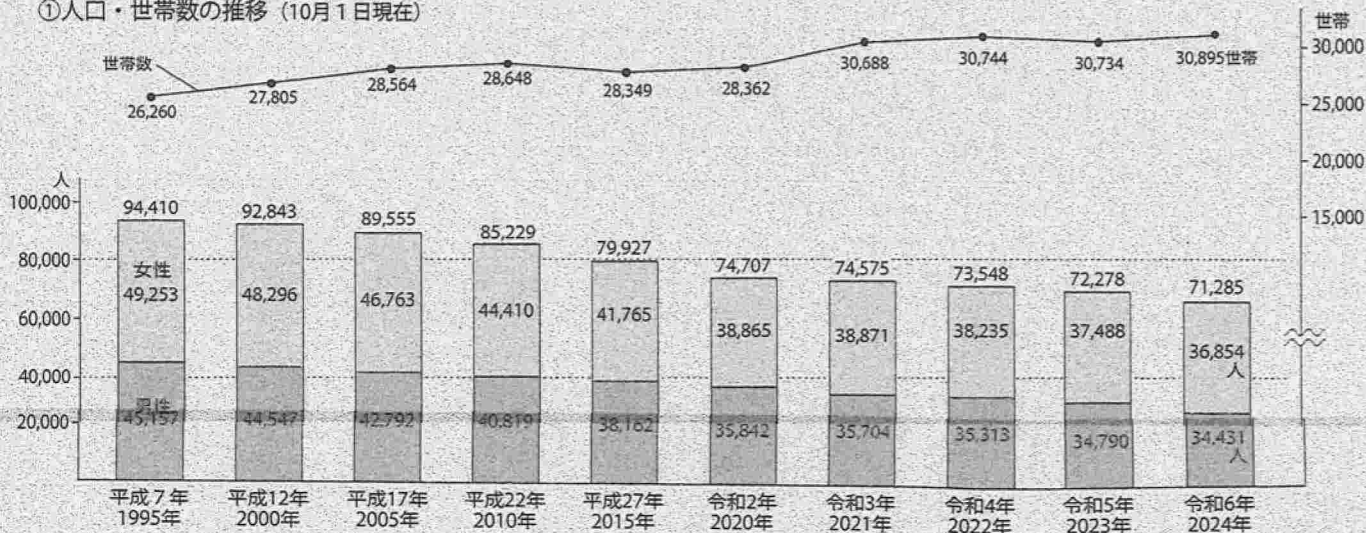
地点	平均気温	年間降水量	最深積雪	年間日照時間
本荘	13.7℃	1,989.5mm	23cm	1,884.3時間
矢島	12.4℃	2,442.5mm	79cm	1,777.6時間

資料/気象庁統計

4. 人口

①人口・世帯数の推移 (10月1日現在)

資料/国勢調査 ※令和3～6年は住民基本台帳 (3月31日現在)



行政視察報告書(No.1)

令和6年 11月 5日

報告者氏名(代表) 山 崎 昭 夫

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1 視察者氏名

山崎 昭夫			
-------	--	--	--

2 視察期間

令和6年 10月 31日 ～ 令和6年 11月 1日

3 視察先、視察事項、選定理由

視 察 日 時	視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由
令和6年10月31日 11時50分 ～17時00分	秋 田	中核市サミット出席。地方創生が叫ばれておよそ10年。年に一度、中核市の首長、職員、議員が一堂に参集。持続可能な都市づくりの先進的取り組みを研修し、政策に生かしたいため。
令和6年11月 1日 10時30分 ～15時15分	由利 本荘	総合防災公園、屋内スポーツ施設の防災拠点化。平時の指定管理(ミズノ)との連携、合宿誘致の状況。大規模施設設置のきっかけと運用状況を視察研修したいため。
年 月 日 時 分～ 時 分		
年 月 日 時 分～ 時 分		

行政視察報告 No. 2 (視察参加者必須)

報告者氏名 山 崎 昭 夫

月 日	視 察 先	視察結果(参考となった事項、考察)
10 月 31 日	秋 田 市	再生可能エネルギーの先進地。特に海上風力発電では中核市の中では他市の追従を許さない。地球温暖化の中、県などのリーダーシップにより、持続可能な街づくりの一環として再生可能エネルギーの一つとして海上風力発電を一貫して推進してきた姿勢は参考に値する。また住民サービスに結び付けるための「着実な進歩と計画」もまた参考に十分に値するものである。
		2030 年までに世界再生可能エネルギー容量 3 倍目標にむけて試みが様々に行われていることが分かった。政府が取り組む再エネ主力電源化。民間セクターの動きが想像以上に進んでいることが分かった。尼崎市のゼロカーボンベースボールパークは中心に EV バスの近隣への導入などパッケージで取り組んでいるが、一部でも脱炭素に向けて取り組みとして、本市にも参考になるものがあった。
11 月 1 日	由利本荘市	「芸術文化が創るまちの未来」のパネルディスカッション。成果は長い期間で醸成されるものであるというコーディネーターの平田オリザ氏の話が参考になった。文化鑑賞を小さな頃から体験している子供たちは、30年後に同じ所得層でもしていない子供より15%の学力差がうまれること。同時に自制心がより強く形成され、社会保障費の抑制にもつながるという話は参考になった。文化のまちづくり先進地でもその傾向がみられるとの話は政策立案の参考になった。
		由利本荘市は人口凡そ7万人。総合防災拠点としてのアリーナ建設。市民だけでなく大規模災害時の補充拠点で備蓄倉庫などは参考になった。また公園には非常時電源をとれるベンチや暖炉など、非常時、平時併せて対応がとられていることが参考になった。
		初期投資は合併特例債を有効に使うことで、地方債の発行もなく、建設ができた。もともとは国立診療所の広大な土地。後利用の有効活用としてもヒントとなるものであった。また平時にはバスケットコート4面確保。プロスポーツや学生のスポーツ合宿などの誘致に成功している点が参考になった。
		ネーミングライツがミズノ。事業者が運営するスポーツジム、また事業者事態のノウハウを生かしてのスポーツや健康イベントを実施。ウィンウィンの関係を構築している点が生かせると思う。
		市役所にあるデジタルスポットをこの施設にも設置している。いわゆる「デジ田交付金事業」の模範例は大変参考になった。住民票の発行、遠隔での住民相談もデジタルサイネージでできる。これは例えば免許返納などが今後進んだ場合にも官庁に赴く手間の軽減などが期待できる。市民生活に根を張っていく可能性が大変参考になった。